

愛知医科大学病院

| | |
|------|---|
| 病院長名 | 道勇 学 |
| 所在地 | 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 |
| 交通案内 | 地下鉄東山線藤が丘駅下車 病院行き名鉄バスで約20分 東名高速名古屋ICから車で約15分 |

□ 病院の特徴

当院は1974年に開院した大学病院です。特定機能病院や高度救命救急センターなどに指定され、充実した設備と最新の診療体制を整え、尾張東部の中核医療施設として地域医療に幅広く貢献しています。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに、高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し、数多くの最新医療機器を導入し、医療従事者も効率的に働ける病院を目指しています。

□ 研修プログラムの特徴

愛知医科大学病院放射線科専門研修プログラム

【研修目標】

放射線科領域における幅広い知識と卓越した技能、医師としての高い倫理性、コミュニケーション能力およびプロフェッショナルリズムを備えた放射線科専門医を育成します。

【研修期間】

3年間（基本）

【研修スケジュール】

研修の初期は画像診断、放射線治療、インターベンショナルラジオロジー（IVR）、核医学の全領域をローテートし、放射線医学の基本を幅広く学びます。

指導は、放射線診断専門医、放射線治療専門医が担当します。さらに、IVR専門医、核医学専門医などの資格も有する指導医が診断、治療、IVR、核医学の各領域で責任を持って指導にあたり、本人の希望と適性を考慮しつつ、ハイレベルな放射線科専門医の養成をめざします。

▼IVR



▼高精度放射線治療



□ 主な連携施設

JA 愛知厚生連 海南病院
JA 愛知厚生連 豊田厚生病院
愛知県がんセンター
西尾市民病院

□ メッセージ

指導医（放射線医学講座 教授 鈴木耕次郎）

愛知医科大学病院は名古屋市の東に位置し、幅広い疾患を診療しています。多くの救急疾患を受け入れ、地域医療連携にも力を注いでいます。

放射線科と各診療科との連携は非常に密接で、充実した研修が可能な体制です。2014年に開院した新病院には最新の医療機器が導入されています。中央放射線部は画像診断センター、血管内治療センター、放射線治療センター、核医学センターから構成され、主な装置は、MRI



5台（3テスラ装置2台）、CT 5台。血管撮影装置 5台（ハイブリッド手術室を含む）、高精度放射線治療装置 2台、温熱療法装置 2台、SPECT-CT 2台、PET-CT 1台などです。

放射線科の常勤医は2023年3月現在20名で、放射線診断専門医12名（うちIVR専門医7名、核医学専門医10名）、放射線治療専門医2名、放射線科専門医3名です。女性医師は6名です。若手医師の指導は全員が熱心に担当しています。連携施設にも経験の豊富な指導医が多く在籍していますので、ぜひ、愛知医科大学病院放射線科専門研修プログラムへのご参加をお勧めします。

□ 募集要項

| | |
|---------|--|
| ・採用予定人数 | 4人 |
| ・給与/月額 | 基本給 173,500円 +地域手当+調整加算手当等 約76,000円 |
| ・当直回数/月 | 1~2回 |
| ・当直料/回 | (救急外来) 宿直手当 約33,000円 (病棟) 宿直手当 20,000円 |
| ・その他 | 通勤手当, 住宅手当, 扶養手当, 賞与(年2回), 社会保険等(日本私立学校振興・共済事業団(健保・年金)), 健康診断 ※ 診療科から外勤の斡旋があります。 |
| ・応募連絡先 | 担当者 池田 秀次(医局長 講師) 電話番号 0561-62-3311(代表) Eメール ikedas@aichi-med-u.ac.jp |